

令和6年度9月定例記者会見 次第

日時：9月25日（水）10時30分

会場：糸島市役所 会議室 411, 412

【出席者】

〔伊都国記者会〕 朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社
〔糸島市〕 市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| ①NHKの連続テレビ小説「おむすび」に関するプロ
モーション | 【市長発表】
ブランド政策課 |
| ②「吉備と伊都国-巨大墳丘墓と大鏡-」展開催のお知
らせ | 【市長発表】
文化課 |

3 懇談・その他

引き続き、瀬戸選手の市長表敬訪問が庁議室であります。
ご参加のほど、よろしくお願いいたします。

【時間】11時から（定例記者会見終了後）

【会場】庁舎正面玄関 ～ 庁議室

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：10月25日（金）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

NHKの連続テレビ小説「おむすび」に関するプロモーション

糸島市が舞台のひとつとなっているNHKの連続テレビ小説「おむすび」（以下「おむすび」）の放送が9月30日から始まります。糸島市はヒロインが高校生まで育った場所として登場し、3月下旬～4月上旬、7月上旬に市内各所でロケが行われました。糸島市では、「おむすび」を活用し、糸島市をより一層盛り上げていくために様々なプロモーションを実施します。

1. 糸島市地域振興オリジナルロゴを作成

◎「おむすび」の放送を契機に、ドラマの舞台となる糸島市のPR及び地域の活性化を図り、糸島市民の郷土愛の醸成や糸島製品の販売促進を目的として、糸島市地域振興オリジナルロゴを作成しました。

使用申請書の提出により、無料で使用できます。

■使用対象：市民、市内事業者、糸島製品を取り扱う市外事業者など

■使用申請：使用申請書等（市ホームページに掲載）を市へメールにて提出後、市が審査の上使用許可書を発行



【オリジナルロゴ】



ロゴのデザイナー

にしむら るい（糸島市在住）

ロゴへの想い

糸島の自然の恵である糸島の食。

おむすびにも見える笑顔の人が糸島の食を手いっぱい持っている、食と笑顔をむすぶを表現。そのおむすびのような人の姿は「山」にも見える。糸島の山々に抱えられた食たち。豊かな自然、山、川、海がつながり糸島の食を作っていることも表現。手書きで描くコトで柔らかさ・優しさ・自然さを表現しています。

2. 地域振興ポスターの配布

◎「おむすび」をきっかけに糸島市全体を盛り上げ、糸島市に訪れる方々に糸島製品を広くPRするために、糸島市内の事業者・団体および、糸島製品を販売、生産している市外事業者にも、「おむすび」の地域振興ポスターを配布します。

■配布対象：糸島市内の事業者・団体、糸島製品を販売、生産している市外事業者

■配布方法：使用届出書（市ホームページに掲載）の提出時に窓口で手渡し

■配布開始日：10月上旬予定

配布準備が整い次第、市ホームページ、市公式SNSなどで周知

3. 「おむすび」 応援特設ホームページの開設

◎「おむすび」を視聴され、糸島に興味を持っていただいた方向けに、糸島を紹介するための特設ホームページを糸島観光サイト「つなぐ糸島」内に開設しました。

■連続テレビ小説「おむすび」 応援特設HP

<https://kanko-itoshima.jp/omusubi/>



■観光サイト「つなぐ糸島」HP

<https://kanko-itoshima.jp/>

糸島観光サイト
つなぐ糸島
produced by 糸島市観光協会



トップ画面イメージ

4. 「おむすび」 第1回放送パブリックビューイングを開催

◎「おむすび」の第1回放送を盛り上げるとともに、市民の郷土愛醸成につなげるため、パブリックビューイングを実施します。

■日時：令和6年9月30日（月） 7:30 開場 8:20 終了

7:30 開場 → 7:50 市長挨拶 → 8:00 視聴開始 → 8:15 市長から感想 → 8:20 終了

■会場：糸島市役所市民ホール

■参加対象：市民、撮影に協力いただいた皆様

■参加費等：無料、事前申し込み無し

5. あべのハルカス近鉄本店「九州大物産展」での糸島市ブースの設置

◎本作品は関西圏も舞台地となっており、関西圏での糸島市の注目度が高まることが予想されます。多くの来客が想定される、あべのハルカス近鉄本店「九州大物産展」に糸島産品を販売する糸島市ブース「むすぶいとしま ～糸島市の「おいしい」をあつめました～」を設置し、糸島産品と観光のプロモーションを実施します。

■開催場所：あべのハルカス近鉄本店 ウイング館9階催事場

■開催期間：令和6年10月16日（水）～10月22日（火）の7日間

■営業時間：10時～20時（最終日は15時閉場）

【問い合わせ先】

経済振興部 ブランド政策課

担当：田中、長谷川

TEL：直通：092-332-2080

メール：brand@city.itoshima.lg.jp

令和6年度伊都国歴史博物館開館20周年記念秋季特別展

「吉備と伊都国—巨大墳丘墓と大鏡—」展

開催のお知らせ

令和6年度伊都国歴史博物館開館20周年記念秋季特別展として、下記のとおり「吉備と伊都国—巨大墳丘墓と大鏡—」展を開催いたします。また、特別展の開催期間中に、特別講演会を実施しますので、併せてお知らせします。

記

1 特別展名称

令和6年度伊都国歴史博物館開館20周年記念秋季特別展

「吉備と伊都国—^{きよだいふんきゅう ぼ}巨大墳丘墓と^{おおかがみ}大鏡—」

2 主 催 糸島市立伊都国歴史博物館、糸島市

3 協 力 岡山大学考古学研究室、岡山大学文明動態学研究所、岡山県教育委員会、岡山県立博物館、岡山県古代吉備文化財センター、福岡市埋蔵文化財課、福岡市埋蔵文化財センターなど

4 開 場 糸島市伊都国歴史博物館 1階展示室

5 会 期 令和6年10月5日（土）～11月24日（日）

6 開館時間 9時～17時（最終入館は16時30分まで）

7 休 館 日 月曜日（10月14日（月・祝）と11月4日（月・祝）は開館し、翌10月15日（火）と11月5日（火）が休館）

8 料 金 大人500円（団体400円）、高校生200円（団体150円）

※ 団体割引の適用は有料入館者20名以上。※中学以下無料

※ 身体障がい者手帳、療育手帳または精神障がい者手帳等を提示した場合、付添人1名を含め無料。

9 展示会であつかう時代背景

弥生時代は稲作農耕文化が始まり、展開した時代ですが、地域ごとに特徴的な変遷を遂げていきます。今回取り上げる吉備地域は現在の岡山県と広島県の東部にあたり、気候は温暖で天気の良い日が多いことから「晴れの国」とも称されています。吉備地域は気候が安定し、肥よくな土地が広がっていたことから弥生時代には稲作が盛んになり、多くの人々が暮らしていたようです。

また、吉備は瀬戸内海のほぼ中央に位置していることから海上交通の要衝として発展し、弥生時代の終わりごろになると富を蓄え、権力を掌握した王が誕生します。王は巨大な墓に葬られ、そこで生まれた風習や文化は、伊都国と同様に、のちのヤマト政権の成立に深く関わったと考えられています。

10 展示会の内容

伊都国歴史博物館では、弥生時代の吉備地域と伊都国の関係性に焦点をあてた特別展「吉備と伊都国」を開催します。本特別展では吉備の王墓「^{たてつきかんきゅうぼ}楯築墳丘墓」出土品をはじめ、重要文化財を含む貴重な資料を展示します。これらを通じて吉備地域における弥生時代の始まりから王墓の誕生、ヤマト政権への関わり方を見ていくとともに、対外交流の拠点であった伊都国との関係性およびその違いについて考古資料を通じてみていきます。

展示の中では、吉備と伊都国の比較を通じて、当時の吉備と北部九州の情勢についても解説していきます。

本展覧会を通じて、観覧者の皆さまが吉備地域の資料を通じて、伊都国とその時代について今一度、考えるきっかけとしていただきたいと思います。

また、特別展の期間中には関連イベントとして、特別講演会も開催します。

11 主な展示品

本展では、楯築墳丘墓（倉敷市）や^{たかつか}高塚遺跡（岡山市）等、岡山平野の主要遺跡から出土した考古資料計 97 件を展示します。展示品の中には重要文化財（6 点）など貴重な品々が含まれます。

12 展示会の見どころ

<見どころ①>「吉備の王墓 楯築墳丘墓」

楯築墳丘墓は弥生時代後期に築かれた全長約 83m の巨大墳丘墓で、同時代では国内最大級のものです。形も特殊で^{そうほうちゅうえんけい}双方中円形を呈しています。墳丘の中央部には^{もつかく}木槨とよばれる木の部屋を造り、その中に王が眠る^{もつかん}木棺が収められていました。木棺の中には^{せきしよくがんりょう}赤色顔料が敷き詰められ総重量 32 kg にもなります。墳丘の上には高さが 3 m を超えるような巨石が立てられていて、訪れる人を圧倒する迫力があります。本特別展では楯築墳丘墓の副葬品を通じて伊都の王と吉備の王の共通点や違いを紹介します。

【関係展示品】

- ・^{へきぎよくんだま}碧玉管玉、ヒスイ勾玉、メノウ^{なつめだま}棗玉（写真①）、鉄剣（写真②）、^{ひとがたどすいひん}人形土製品（写真③）、^{こたいもんせき}弧帯文石（写真④）（レプリカ）／楯築墳丘墓（岡山大学考古学研究室蔵）

<見どころ②>「吉備の青銅器」

伊都国の青銅器といえば銅鏡で、三雲^{みくもみなみしろうじ}南小路・井原^{いわたらやみぞ}鑓溝・平原^{ひらばる}の伊都国三王墓で110面以上の銅鏡が出土していますが、吉備では弥生時代終末期以前の銅鏡はほとんどありません。ただ、注目される資料として銅鐸^{どうたつ}があります。銅鐸は偶然に発見されるものが大半を占める中、高塚遺跡では集落の隅に埋納された状態で銅鐸が出土し、時期が特定できるものとして注目されています。また、高塚遺跡からは25枚の貨泉^{かせん}や棒状銅製品^{ぼうじょうどうせいひん}も出土していて、青銅器生産が行われた可能性も指摘されています。このほか、北部九州から持ち込まれた中細形銅剣^{なかほそがたどうけん}のほか、古墳時代のヤマト政権から配布された三角縁神獣鏡^{さんかくがうしんじゅうきやう}や銅鏃^{どうそく}も展示し、吉備とヤマトとの関係性についても紹介します。

【関係展示品】

- ・突線流水文銅鐸^{とっせんりゅうすいもんどうたつ}（写真⑤）、棒状銅製品（写真⑥）、貨泉（写真⑦）／高塚遺跡（岡山県教育委員会蔵）
- ・中細形銅剣（写真⑧）／久米南町別所遺跡^{くめなんちようべっしよ}（岡山大学考古学研究室蔵）
- ・三角縁神獣鏡（写真⑨）／権現山51号墳^{ごんげんやま}（岡山大学考古学研究室蔵）
- ・銅鏃（写真⑩）／浦間茶臼山古墳^{うらまちゃうすやま}（岡山大学考古学研究室蔵）

13 学芸員のイチ押し

<学芸員イチ押し①>「弥生時代の精神世界へアプローチ；分銅形土製品」

分銅形土製品^{ぶんどうがたどせいひん}は福岡ではあまりなじみのない資料ですが、瀬戸内から山陰にかけて数多く出土しています。なかには顔を表現したものもあり、なんともいえない愛嬌もあります。

これらは吉備の人々の精神世界を示す資料とも言えますが、解釈が難しく謎が多い資料としても知られています。分銅形土製品を間近に見てもらい、なぜ解きにチャレンジしてもらえたらと思います。

【関連展示品】

- ・分銅形土製品／加茂政所遺跡^{か も まんどころ}（写真⑪）・上東遺跡^{じやうとう}（写⑫）（岡山県教育委員会蔵）

<学芸員イチ押し②>「権力の源となった塩作り；製塩土器」

本特別展では器壁が薄く粗雑に作られた土器を展示していますが、これは塩作りに用いられた土器です。稲作農耕が始まると意識的に塩の摂取を行う必要がありますが、本格的に塩作りを始めたのが吉備の人々でした。大量生産した塩を各地に配布することで、富を蓄え、のちの王の出現へとつながったものと考えられます。粗製の土器ですが、権力を生み出すきっかけとなったものとして注目されています。

ちなみに北部九州では吉備の影響を受け古墳時代前期から本格的な塩作りを始めますが、その最初の地点が今山や今津・今宿などの伊都国東岸地域であり、吉備と伊都国の交流をしめす資料ともなっています。

【関連展示品】

- ・製塩土器／津島遺跡^{つしま}・上東遺跡^{ももだ}・百田遺跡（写真⑬）（岡山大学考古学研究室）
- ・城遺跡^{じやう}（写真⑭）・津寺遺跡^{つでら}（写真⑮）（岡山県教育委員会蔵）
- ・製塩土器／今山遺跡^{いまやま}（福岡市埋蔵文化財センター）

14 特別講演会

特別展期間中、テーマに沿った専門家を講師としてお招きした講演会を開催します。

《特別講演会》

特別講演会① 10月26日(土) 14時～15時30分

演題 「楯築墳丘墓と吉備の弥生時代」

講師 清家 章氏(岡山大学文学部教授)

特別講演会② 11月23日(土) 14時～15時30分

演題 「玄界灘～瀬戸内の海上交流を探る」

講師 大庭 孝夫氏(福岡県教育委員会)

【共通事項】

- ・ 受講料 500円(特別展観覧料を含む)
- ・ 定員 100人(要事前申し込み、先着順)
- ・ 10月1日(火)より申し込み開始、先着順
- ・ 会場 伊都国歴史博物館4階研修室(糸島市井原 916)
- ・ 申込方法 伊都国歴史博物館窓口または電話(092-322-7083)申し込み

【問い合わせ先】

糸島市立伊都国歴史博物館(地域振興部文化課博物館係)担当:江野・平尾

電話番号:092-322-7083

メール:itohaku@city.itoshima.lg.jp



①碧玉管玉、ヒスイ勾玉、メノウ棗玉(楯築墳丘墓)



②鉄剣(楯築墳丘墓)



③人形土製品(楯築墳丘墓)



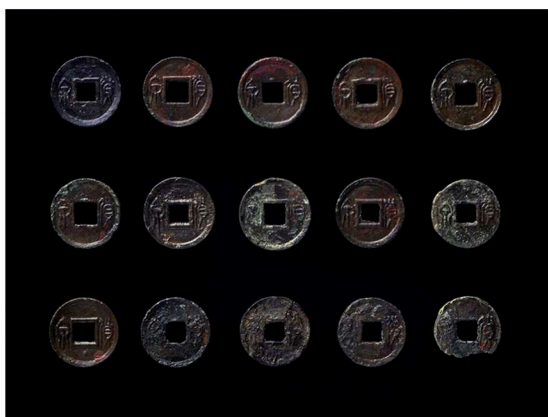
④弧帯文石(楯築墳丘墓・レプリカ)



⑤銅鐸(高塚遺跡・重文)



⑥棒状銅製品
(高塚遺跡・重文)



⑦貨泉(高塚遺跡・重文)

※展示は4点



⑧中細形銅剣(久米南町別所遺跡)



⑨三角縁神獸鏡(権現山51号墳)



⑩銅鏃(浦間茶臼山古墳)



⑪分銅形土製品(加茂政所遺跡)



⑫分銅形土製品(上東遺跡)



⑬製塩土器

(左奥:津島遺跡、右前;百田遺跡、左手前:上東遺跡)



⑭製塩土器(城遺跡)



⑮製塩土器(津寺遺跡)